



300年以上の歴史があると伝わる 「天王様の井戸」が枯れた

2024年5月27日 本村伸子事務所撮影

ひび割れたため池

2025年2月1日 本村伸子事務所撮影

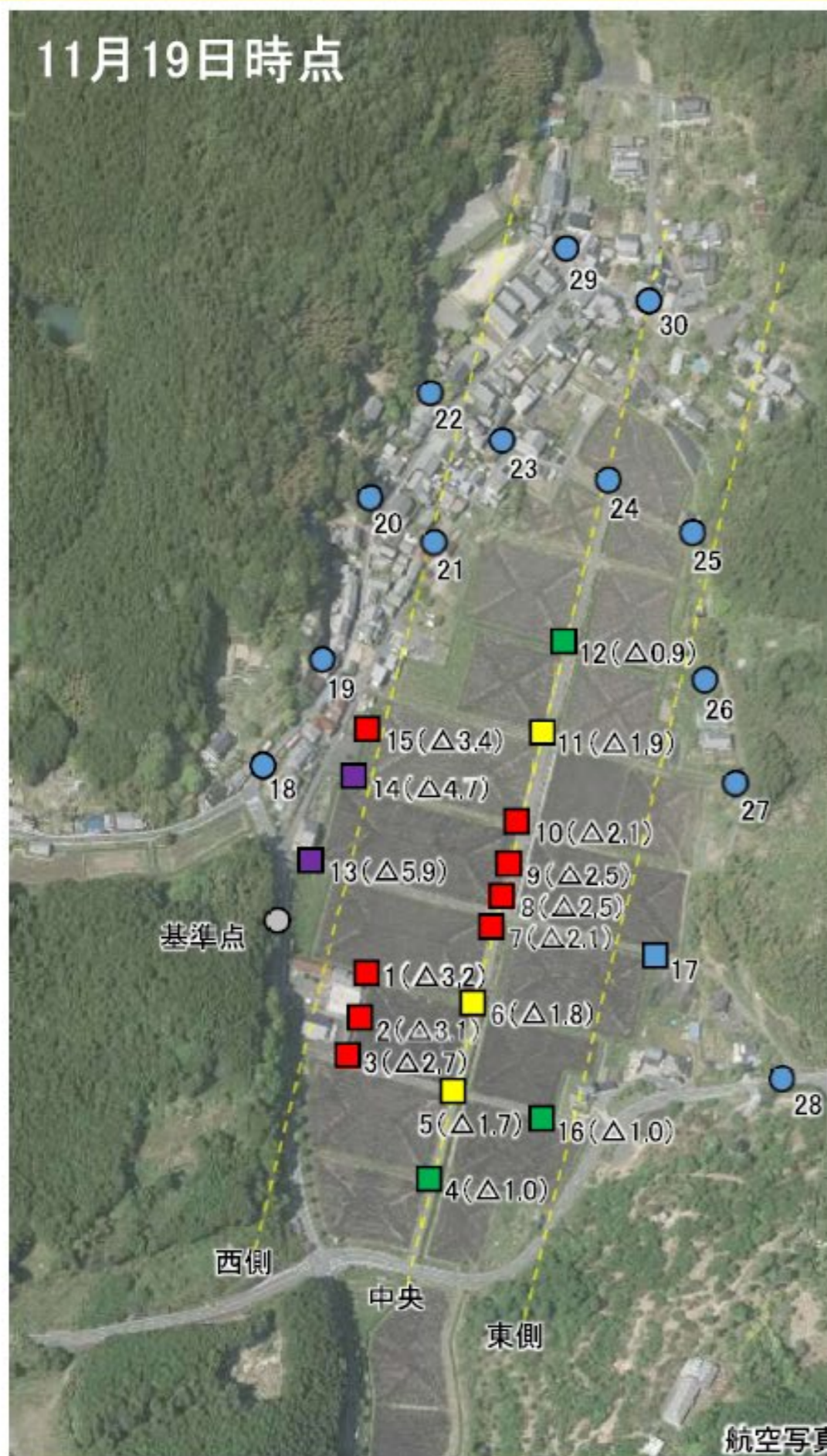


沢が枯れて干上がった 大湫神明神社の池

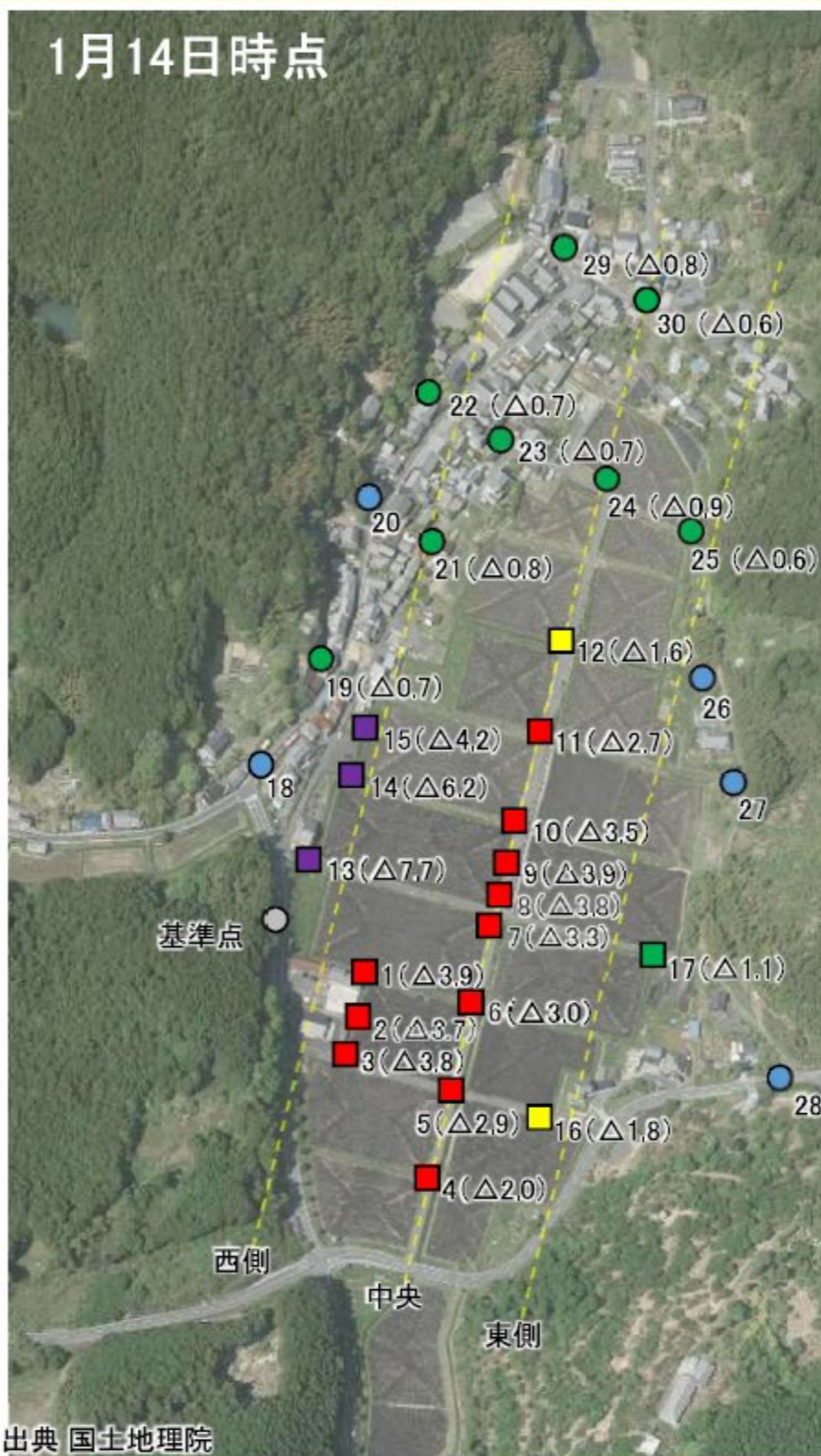
2025年2月1日 本村伸子事務所撮影

地表面計測結果

11月19日時点



1月14日時点

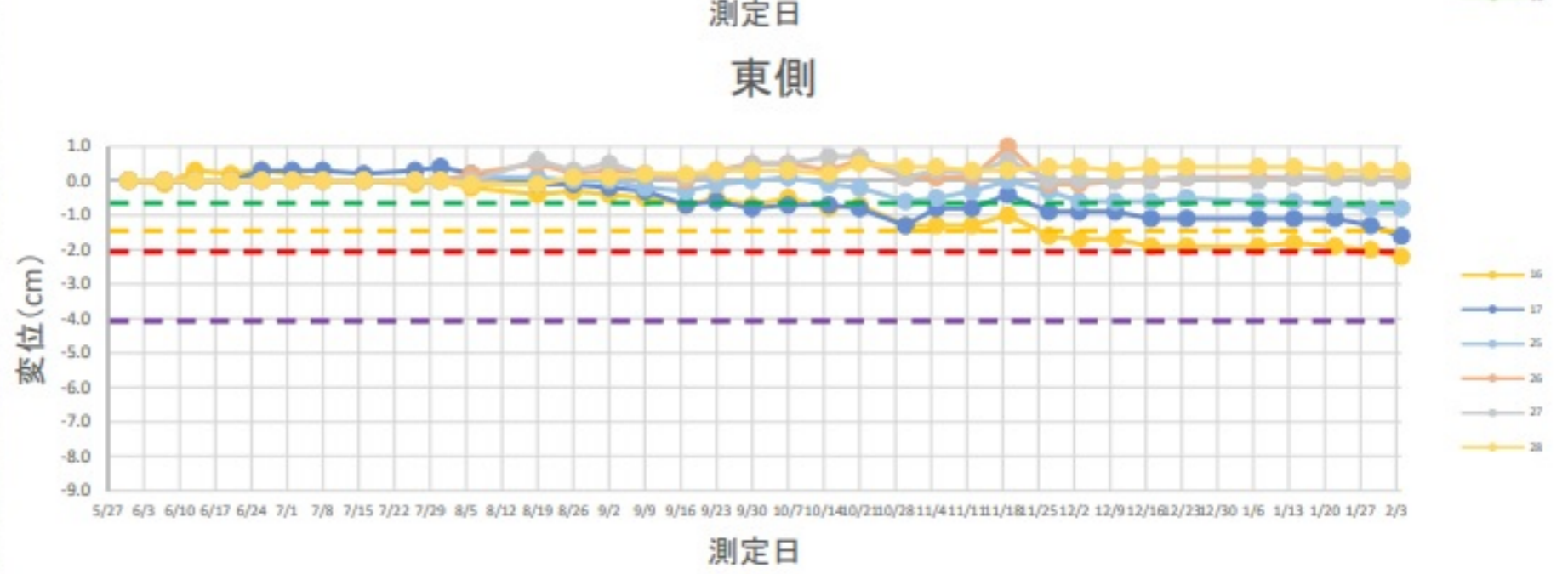
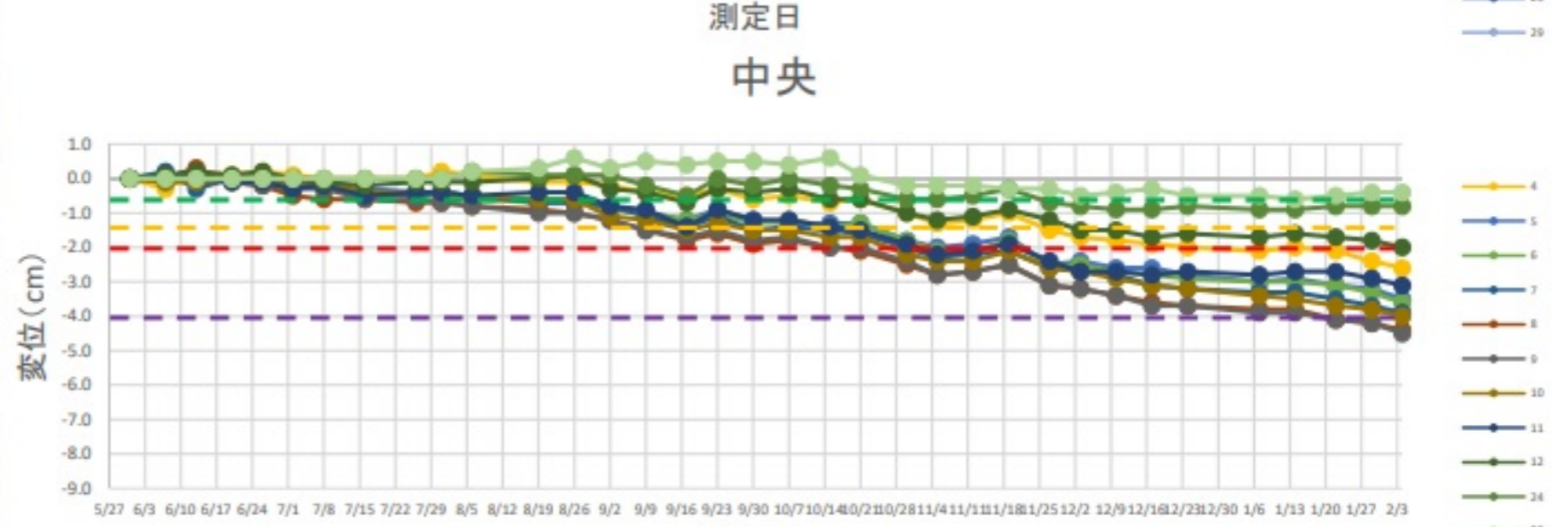
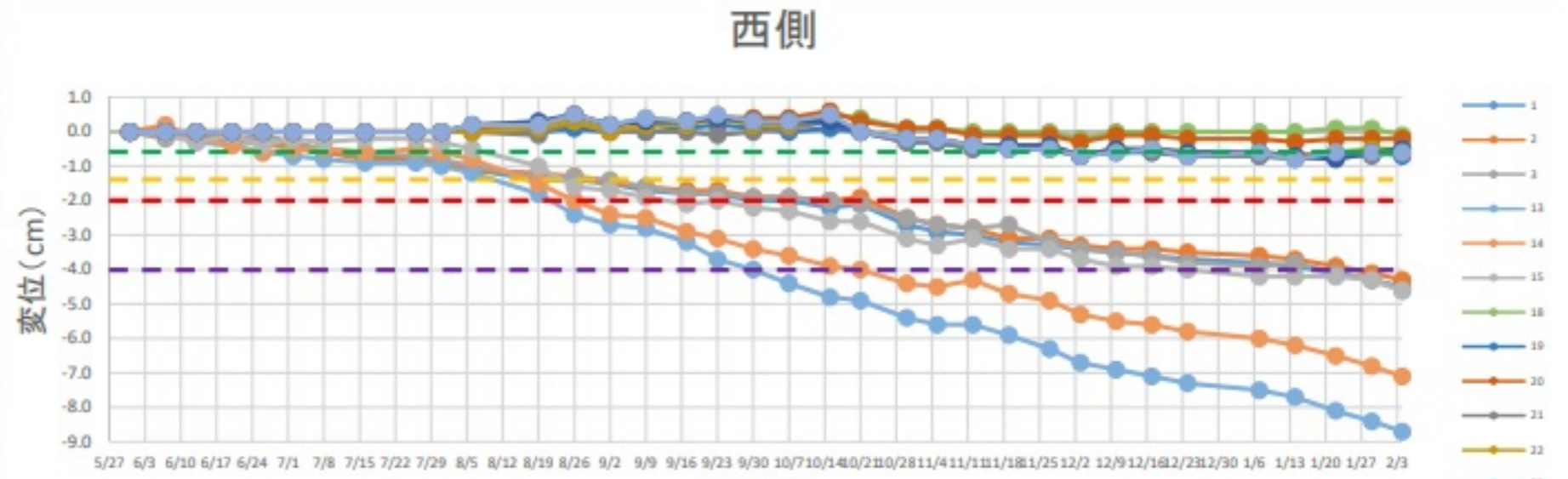
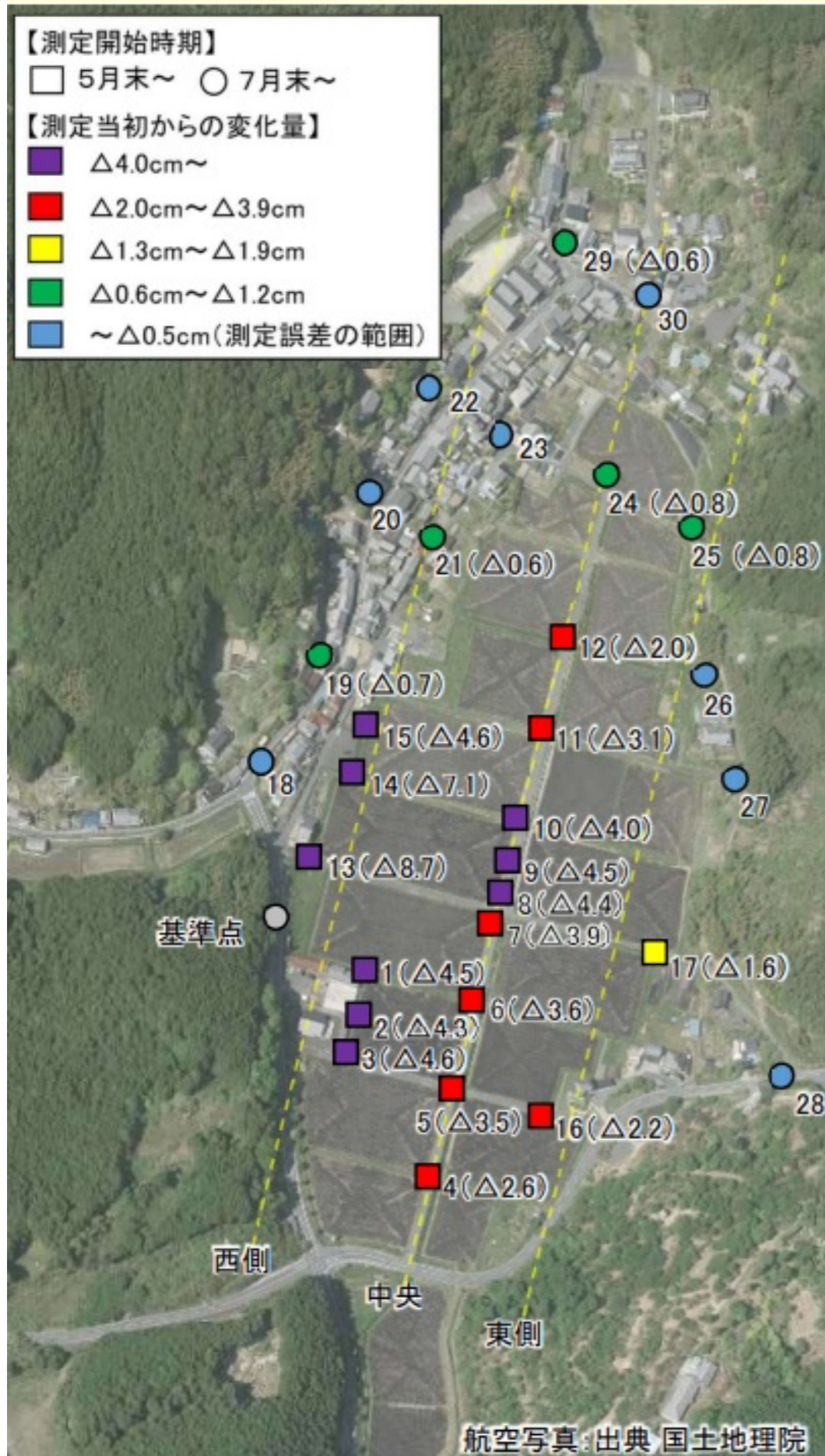


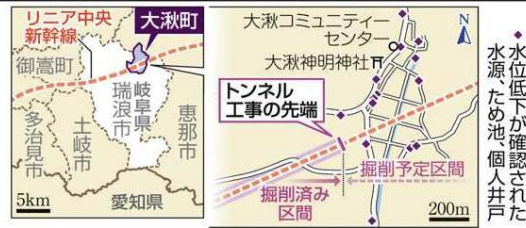
- 前回の審査会で提示した11月19日時点と、最新となる1月14日時点の地表面計測結果を示す。
- 計25地点で測定当初から0.6cm以上の低下が見られる。
- 9月18日から家屋調査を開始しており、順次進めている(対象:約60軒)。
- 1月15日時点で48軒完了(約1軒/日のペース)。

【測定開始時期】	
□ 5月末~	○ 7月末~
【測定当初からの変化量】	
■	Δ4.0cm~
■	Δ2.0cm~Δ3.9cm
■	Δ1.3cm~Δ1.9cm
■	Δ0.6cm~Δ1.2cm
■	~Δ0.5cm(測定誤差の範囲)

航空写真: 出典 国土地理院

地表面計測結果(2/5時点)





リニア 岐阜の水位低下

把握後も「調査考えず」

JR東海、報道後に転換

岐阜県瑞浪市大湫町でリニア中央新幹線のトンネル工事が原因とみられる共同水源などの水位低下が起きた問題で、工事主体のJR東海の担当者が、問題が公になる前の5月14日にあった県や市の幹部との会議で「多大な費用と時間を要するため、詳しい原因調査は考えていない」と説明していたことが分かった。JRが当初、原因究明より工事を優先していた姿勢が明らかになった。（池内琢）

環境への配慮欠如⑩面

JRの説明内容が、本紙の情報公開請求で開示された県の公文書に記録されていた。会議直後に本紙などが水位低下を報道。県や市、地元住民らの要請を受けてJRは工事を中断し、地質調査する意向を示した。

開示された文書は5月14日に県庁で開かれたJR東海と岐阜県、瑞浪市の3者会議の「面談記録」や、前日の13日にJR東海などが大湫公民館で開いた住民説明会の「記録票」など。面談記録によると、3者会議にはJR東海中央新幹線建設部の担当者、県環境生活部長、瑞浪市みずなみ未来部長らが出席。JR側が報告の遅れを謝罪し、「本事案はトンネル工事が原因とされている」と述べたことが記録されている。

「詳しい原因究明を求め、県や市側に、JR側は「多大な費用と時間を要する」と説明。それよりも代替水源の提供を行うのが得策」と説明。「工事を止めたからといって地下水位低下が収まるわけではない。トンネルを完成させ、早く復水できる環境を作る方が最善」との認識を示していた。

JR東海は2月20日、大湫町内の観測用井戸の水位低下を把握。3月10日の地元総会への説明などを経て、5月13日夜に住民説明会を開いた。記録票によると、説明会で工事中断を求め、説明会で「掘削を続ける意向を示し、住民側からは「水位低下を確認した段階では、住民生活に不便のないように上水道をつなぐ工事をするなど補償を優先した」と説明した。

JR東海の広報担当者は取材に「もっと早い段階で公表すべきだった。今後は適切に対応していきたい」とし、「水位低下を確認した段階では、住民生活に不便のないように上水道をつなぐ工事をするなど補償を優先した」と説明した。

図3 借入れの主な条件

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
借入額	5,000億円	5,000億円	5,000億円	7,500億円	7,500億円
利率	0.6%	0.8%	0.9%	0.9%	1.0%
	全期間固定				
借入 実行日	平成28(2016)年 11月29日	平成29(2017)年 1月16日	平成29(2017)年 3月10日	平成29(2017)年 5月17日	平成29(2017)年 7月12日
弁済期限	平成67(2055)年 11月29日	平成68(2056)年 1月16日	平成68(2056)年 3月10日	平成67(2055)年 11月17日	平成68(2056)年 1月12日
返済方法	平成58(2046)年 5月まで据置	平成58(2046)年 7月まで据置	平成58(2046)年 9月まで据置	平成58(2046)年 5月まで据置	平成58(2046)年 7月まで据置
	以降、元金均等返済				
担保	無担保				